

「市立公園駐車場有料化中止条例」を共同提出



市立芹ヶ谷公園で遊ぶ子どもたち

6月6日から28日まで、2013年町田市議会第2回定例会（6月議会）がおこなわれました。市長からは、風しんワクチンの自己負担軽減などを含む一般会計補正予算や忠生市民センターの契約に関する議案などが提出されました。

定例会最終日に、「風しんワクチンの無料化」（市長原案は自己負担を5千円）を盛り込んだ補正予算の修正案（志政クラブ提出）が提出されました。日本共産党は「自己負担の軽減は必要」と賛成討論をおこない、修正案は可決されました。

可決後、市長から「再議」の申し出があり、7月8日に第1回臨時議会がひらかれました。臨時議会では、修正可決した補正予算は必要数である3分の2の賛成が得られず否決。再度、市長原案の採決がおこなわれ、日本共産党も賛成して原案が賛成多数で可決されました。

「有料化後、公園利用する機会減った」

市立公園駐車場の有料化が2012年12月に実施されて以降、市民の方からは「公園は市民の身近な憩いの場なのに、駐車場の有料化で利用する機会が減った」など批判の声が寄せられています。有料利用は全体の20%程度と当初の想定から大きくずれています。気軽に利用できるはずの公園で時間を気にしながら利用している人が増えていることの反映です。

日本共産党市議団は、民主党・社民・ネット会派と共同で「市立公園駐車場有料化中止条例」（町田市立公園条例の一部を改正する条例）を提出。6月の市議会建設常任委員会では「判断する時間が必要であり、なお、調査を要するため」という理由で継続審査とされました。

収支は赤字

指定管理者には赤字補てん

市議会建設常任委員会の審査の中で、担当課長からは「支出の超過となっているのが現状。深刻に受け止めている」「現在のところ赤字が黒字に転換するところの予測までは必ずかしい」という答弁がありました。有料化された8公園の赤字総額は半年間で3000万円を超えています。

指定管理者（4グループ）の収支実績（2012年12月から2013年3月）を見ると、昨年度は総額で1206万円の赤字補てんをしています（表）。

グループ名	支出	収入	補てん請求額
相原中央公園	2,172,276	898,750	1,273,526
野津田公園	8,019,853	2,376,420	5,643,433
小野路公園グループ	3,122,098	1,287,805	1,834,293
町田中央公園グループ	4,713,279	1,403,750	3,309,529
合計	18,027,506	5,966,725	12,060,781

有料化中止以外に解決策ない

有料化によって、新たな負担増がもたらされ、公園を利用しにくくなっています。市は、「公共の福祉の増進」（都市公園法第1条）のために、誰もが気軽に楽しむことができる魅力ある公園をつくるのが本来の仕事です。

8月から平日に限って指定管理の駐車場を無料にすると思いますが根本的な解決にはなりません。有料化をやめることが唯一の解決策です。そして、「受益者負担の適正化」という市民負担増の考え方を転換すべきです。